

2024年7月

信州から能登へボランティアの力を！  
**能登町災害支援**  
**ボランティア・バン企画**



今年4月に、「福祉を考える企業の会」より能登町役場へ寄贈された軽トラ

長野県大規模災害ボランティア活動応援助成を活用し、駒ヶ根市社協として職員2名、一般公募ボランティア4名の計6名で5月30日～5月31日の2日間、能登町での災害支援活動を行いました。

現地で活動を行った職員は「民家の屋根や壁は崩れ地面に壁やガラスが散乱しており、倒壊している民家も多く、道路も地割れがあり、多くの電柱も曲がっている状態でした。」また、「被災者宅に訪問し畳や家電、家具等の撤去を行いました。まだまだ支援が必要な場所が多い現実があり、復興までの道のりは長く、ボランティア活動の必要性や継続性の重要性を感じました。」とのことでした。

## 能登町にマフを届けました

ボランティア団体「おれんじマフの会」が作ったマフ(写真)を能登町社協へお渡ししました。認知症マフは認知症特有の症状から手元に不安を感じる人が触れることで落ち着く効果があるとされています。



## 今号の話題

- 🌸 令和5年度決算の概要
- 🌸 社協理事会・評議員会の報告
- 🌸 地域での支え合い体制について 🌸 善意銀行
- 🌸 福祉を考える企業の会 🌸 なんでも伝言板
- 🌸 正規職員募集

発行者

**駒ヶ根市社会福祉協議会** (ふれあいセンター)

駒ヶ根市梨の木2-25

<http://www.kmshakyo.org/>

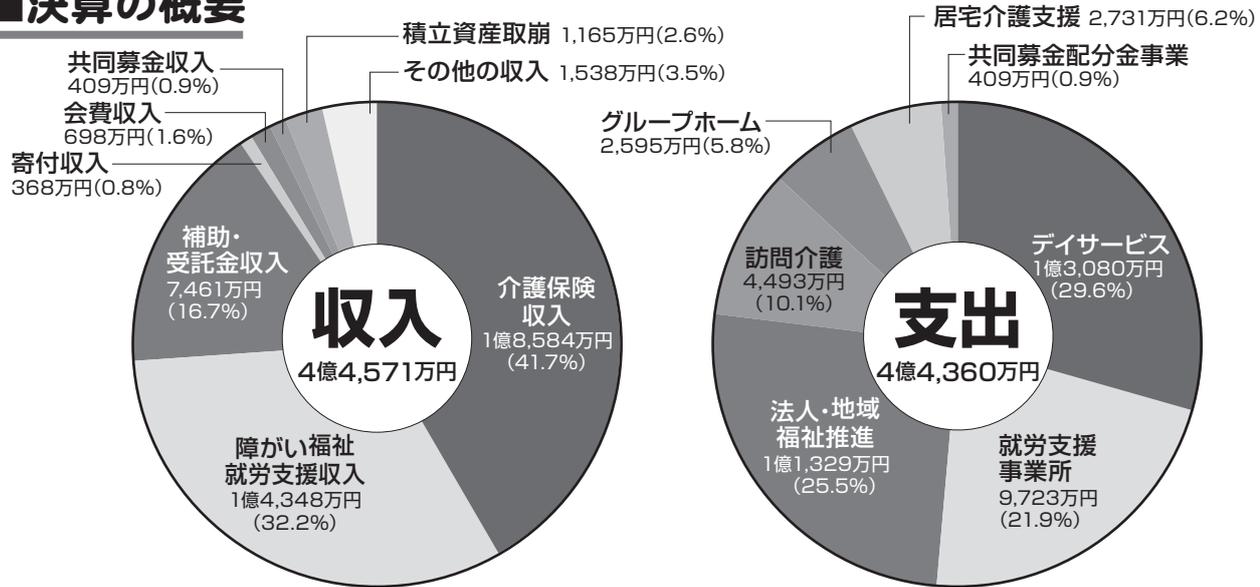
TEL.0265-81-5900 FAX.0265-81-5745



令和5年度

## 市社協の決算と事業

## ■決算の概要



## ■事業の概要

令和5年度当協会の事業は「支え合いの中で 安心と生きる喜びをもって 笑顔あふれる 地域社会を」を基本方針に事業実施しました。

令和5年度から第1層生活支援コーディネーターを市から受託し、地域の課題をより把握することができるように地域福祉推進に努めました。

地域ごとの「高齢者の集い」を開催し、地域ごとの自主性を尊重しながら、地域の交流促進とふれあいいきいきサロンの推進を行いました。

社会福祉大会は赤穂公民館に会場を移し、長年福祉活動を行って来られた方々の功績をたたえることが出来ました。

市内の企業や個人の方から生活困窮者支援にお米や多くの食料のご寄付をいただきましたので、子ども食堂と共催で10月と3月に「食料応援の日」を実施してご寄付いただきましたご厚志を子育て世代を中心に多くの方々に還元することができました。

災害ボランティアセンター立ち上げ訓練、福祉避難所開設運営訓練も実施し災害時の備えも継続して行うことが出来ました。

権利擁護推進のひとつとして取り組んでいます成年後見事業については、令和3年6月から法人後見受任を開始し8名の受任があり着実に進めています。

令和5年度は、令和元年から続けている経営改善の成果が出てきて法人全体としては若干の黒字決算となりました。

## 1. 地域福祉の推進

ふれあい広場は、実行委員会を開催して検討を行い、コロナ禍前の内容を見直し、原点に戻って参加者同士のふれあいに重点をおいた内容とし、会場をふれあいセンターに移して再開することができました。

高齢者や障がい者等の支援を継続することに努め、ふれあいいきいきサロン事業等にご協力いただいている地域の方やボランティアの方の支援のため、10月に地域支え合いサポーターフォローアップ講座を2回に分けて開催しました。令和5年11月にはサロン交流会も行いました。

## 2. 受託事業

新型コロナウイルスに伴う生活福祉資金特例貸付を利用された方の内市県民税非課税世帯の方に令和5年8月から令和6年2月まで、上伊那市町村社協として休眠預金を活用した食料品や日用品支援を行いました。

## 3. 介護保険事業

社協全体収入の約半分を占める介護保険事業の経営基盤の安定を目的に、令和2年10月より介護保険事業の商圈調査、現状把握、課題の解決に向けた取り組み、共有を行う検討委員会を設置し、継続的に開催してきました。5類移行とはなりましたが、新型コロナウイルス感染症は収まることなく影響を受けました。また、各種値上げによる経費への圧迫もあり、厳しい経営状況の中ではありますが、利用者確保に努め、各事業所の大規模修繕、施設整備を実施することができました。

## 4. 障がい者自立支援事業

社協全体収入の3割を占める障がい者自立支援事業においても介護保険事業同様に、経営基盤の安定を目的に令和4年8月より検討委員会を設置し、継続的に開催してきました。

就労支援事業所においては新型コロナウイルス感染症の影響、各種値上げによる経費への圧迫もある中、自主製品の新規開発、販路の拡大に努めました。また、生活の場であるグループホームでは、空床マネジメントと共にサービスの質向上に努め、良好な経営状態を維持できました。

# 社協理事会・評議員会の報告

令和6年6月13日 理事会開催  
6月27日 評議員会開催

## ◎可決された主な議案

- 令和6年度第1回理事会(令和6年6月13日開催)  
令和5年度事業報告・決算報告・監査報告他
- 令和6年第1回評議員会(令和6年6月27日開催)  
役職交代に伴う理事の選任・解任について  
令和5年度事業報告・決算報告・監査報告他

## ◎人事 役職交代に伴い役員が下記のように決定しました。

- 《常務理事の選任》 任期: 令和7年6月の評議員会まで  
中村 竜一 事務局長
- 《理事の選任》 任期: 令和7年6月の評議員会まで  
北原 純氏 市民生部長  
倉田 正清氏 市区長会長
- 《評議員の選任》 任期: 令和7年6月の評議員会まで  
倉田 俊之氏 市区長会副会長  
清水 春雄氏 市高齢者クラブ連合会会長



# 地域での支え合い体制について

地域福祉係 第1層生活支援  
コーディネーターより  
セカンドライフを迎える方々へ

少子高齢化時代との報道も最近ではすっかり慣れてしまった気がします。高齢化時代は不幸な時代なのでしょうか。人生100年、定年70歳の時代を迎える中、65歳以上が高齢者といわれた世代はもう過去の話です。元気な70代以上が地域の様々な場でリーダーシップをとり活躍する時代です。今、各地区では、地域住民が主体で行う生活支援（見守り・買い物支援・草刈り・ゴミ出しなど）が始まっています。地域の中で活躍することで、地域の人たちの笑顔を受け、やりがいを感じることで、心身の健康維持になり、介護を受けない老後にもつながります。

原始の時代から人は集団生活を送り、助け合いながら生きてきました。近代になり個人主義の風潮もありますが、どんな時代も人類は決して一人で生き抜いてきたものではありません。人と人とのつながりの中で困難を乗り越え、他の人の笑顔を見ることで幸せを感じ、生きがいを感じてきました。例えば、新技術の開発も、困りごとの分析から始まり新商品が出来、人の笑顔へとつながっています。自分だけが良ければよいという考え方では、世の中の進歩もありません。

地域での「支え合いは体制の構築」とは、地域の中に人の笑顔を増やすことにつながります。高齢者と呼ばれる皆さん、人生はこれからですヨ!!



## 善意銀行報告

あたたかな真心、  
ありがとうございました。  
(令和6年4月1日～6月30日)



氏名等	金額(円)・物品
清水 和則 様	30,000
塚田理研工業(株) 様	500,000
下島 陽子 様 (故下島信夫遺志金)	10,000
高園クラブ 様 (北の原サロン)	5,000
上伊那地区メーデー実行委員会 様	25,000
井口 義成 様	20,000
日本シャフト(株)駒ヶ根工場 様	文房具

氏名等	金額(円)・物品
民生児童委員協議会 様	手縫い雑巾
立正佼成会伊那教会 様	食品
S・T 様	食品
工藤 恵治 様	食品
福沢 治朗 様	食品
上伊那地区労働者福祉協議会 様	食品
ハチ食品 様	食品

## 「福祉を考える企業の会」創立30周年記念式典・祝賀会

駒ヶ根市内の企業（122社）で作る「福祉を考える企業の会」は6/22、創立30周年を迎え、記念式典・祝賀会が盛大に行われました。

市民の社会福祉の充実のために各企業が連携し、ボランティア団体へ助成金贈呈や子ども食堂を通じた食糧応援等、多岐にわたり事業を展開してきました。元旦に起きた能登半島地震の支援として、軽トラック1台を能登町へ寄贈することが出来ました。



また、記念事業として多くの市民の皆様に使っていただけるよう、車いすごと乗り込める福祉車両を駒ヶ根市社協へ寄贈しました。また、福祉を考える企業の会のロゴマークを、駒ヶ根市立東中学校 林ひかりさんに依頼し、素敵なデザインに作り上げて下さいました。「私達の住む地域の様々な人がともに助け合って生きていけるように、そして明るい地域になっていくように」と願いが込められています。

今後も、駒ヶ根市民の皆さんのために何が出来るか考え、活動を続けたいと思います。

駒ヶ根市内企業の皆様、一緒に活動し、駒ヶ根市を盛り上げていきましょう。



## なんでも伝言板

申し込み・お問い合わせは社協へ  
TEL 81-5900

### ふれあい広場

～であい ふれあい ともにいきるまち～



日時 **9月1日(日)**  
10:00～13:00

場所 **ふれあいセンター**  
(梨の木2-25)

皆さま、お問い合わせの上  
是非お越し下さい!

キッチンカーも来ます。  
(駐車場はふれあいセンター周辺にあります)



### 『オレンジ・ランプ』映画上映会

9月は認知症月間です。

駒ヶ根市では、「認知症になっても希望をもち、生きがいのある暮らしを続けることができる地域づくり」を進めております。認知症は、誰にでも起こりうる脳の病気によって生じる状態です。特別な人がなるというものではありません。

今年の認知症月間では、39歳で若年性認知症と診断された丹野智文さんの実話をもとに作られた映画『オレンジ・ランプ』を上映します。

日時 **9月10日(火)**  
13:30～15:30 (13:00～受付)

場所 **赤穂公民館ホール**

参加費 無料 **申し込み** 不要

問合せ 駒ヶ根市役所 地域包括支援センター  
TEL81-6695 (直通) 担当: 米山、中村



## 令和7年4月採用 社会福祉法人 駒ヶ根市社会福祉協議会正規職員募集

**資格要件** 社会福祉士・介護福祉士・看護師(准看護師)・作業療法士・理学療法士・介護支援専門員・保育士・管理栄養士(栄養士)等福祉関係の資格所有者

**募集人数** 若干名

**一次試験** 令和6年8月9日(金)までに、履歴書、資格要件証明書の写し、作文を駒ヶ根市社会福祉協議会まで提出

**作文テーマ**

- ①地域における社会福祉協議会の役割について、あなたはどのように考えますか。
- ②介護の専門職として、あなたが最も大切にしたいことはなんですか。
- ③福祉専門職の相談スキルにとって、あなたは何が最も重要だと思えますか。

上記3題から一つ選び800字以内(自筆作成のこと)

**二次試験日** 令和6年9月8日(日) 午前9時より面接試験

**合否決定通知** 一次試験結果 8月16日(金) 発送予定  
二次試験結果 9月13日(金) 発送予定

**採用時期** 令和7年4月1日

**勤務職場** 本会運営の市内福祉施設  
介護保険事業所・障がい者支援事業所・地域福祉振興事業  
◇ホームページに掲載してあります。

**お問合せ** 駒ヶ根市梨の木2-25 (ふれあいセンター内)  
社会福祉法人 駒ヶ根市社会福祉協議会  
総務課(堀越)  
TEL 0265-81-5900 FAX 0265-81-5745  
ホームページ: <http://www.kmshakyo.org/>